

小学校のふるさと学習に協力

銅山をテーマとした学習のため、日本銅センターは昨年、新潟県東蒲原郡の鹿瀬町立鹿瀬小学校へビデオや資料を提供した。鹿瀬町はかつて草倉銅山が栄え、銅にゆかりの深い町であったことから「ふるさと学習」として銅山の歴史や当時の人々の暮らしを学習したもの。

授業終了後には、生徒さんから「銅のことがよくわかりました」などの寄せ書きをいただいた。



ふるさと学習教材



鹿瀬小学校のみなさんから贈られた寄せ書き

国立科学博物館 産業技術史講座 「産業と暮らしを支える銅」開催

9月、国立科学博物館上野にて酒匂幸男氏(国立科学博物館産業技術史資料情報センター主任調査員)を講師に産業技術史講座「産業と暮らしを支える銅」が開催された。この講座開催にあたり日本銅センターも協力した。講座では銅の歴史、特長、製造工程、21世紀の銅産業のあり方などが説明され、一般参加者40名が銅の理解を深めた。



銅が語る「愛・地球博」で見つけた世界の銅



イラン館
100年ほど前ののぞきからくり
遊具 シェア・ファラング

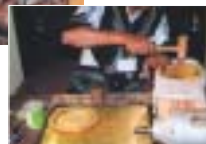
アフリカ館(コンゴ)
民族性あふれる面/像



モロッコ館 入り口扉に美しい
レインチングメタルが...



コーカサス館
くらしを支えてきた銅器物



スリランカ館 銅器物打ち出し実演



イタリア館 踊るサテュロス
撮影:Massimo Berretta

編集手帖

銅の歴史物語そしてお伊勢ストーリー...ひっそり沈黙する社殿の森が、どっどと銅の魅力を語りかける。そのパワーフィールドの拡がり新しい町づくりに銅文化発信いや発見! リレー随想...宝石に近いほど貴重なもの? 絵画の世界からみた緑青。見直したろくしよ殿。執筆者の最後の3行。ホントそうですネ。カバードリーム...銅の演出 ここまでできるか。守

るべき伝統手法に新風を吹き込むとうなるんだ! という見本。技術蓄積集団がデザイナーとネットワークを形成することで新しいマーケットが創造・開拓できそう。カバーワールド...院内感染防止に初の試み。注目に値します!このプロジェクト。次号ではうれしい結果を報告する予定。

編集デスク 斉藤 久嘉(日本銅センター)

「銅」誌編集委員会

委員 鉱山/増田勝彦(三菱マテリアル(株))、高橋涉(パンパシフィック・カップパー(株))、永田禎彦(日本鉱業協会) 伸銅/田中和雄(古河電気工業(株))、松阪和則(日本伸銅協会) 電線/湯谷彰(株)フジクラ、宮田充(社)日本電線工業会)